

経済指標ウォッチャー

ユーロ圏GDP成長率 2期連続のマイナス成長に

ワクチン接種の進展状況等から、景気回復には時間を要する見込み

GDP（国内総生産）とは？

Gross Domestic Productの略で、国内において一定期間内に新たに生産されたモノやサービスなどの合計金額。その国の経済力の目安に用いられる。

前年同期や前期と比べ、どのくらい増加（減少）したのかを見ることで、国内の経済成長を推定することが可能となる。GDPの増減率を%で表したものを『GDP成長率』と呼ぶ。

ユーロ圏のGDP成長率は2期連続のマイナスに

欧州連合統計局が4月30日に発表した、2021年1-3月期の実質GDP（域内総生産）成長率（速報値）は前期比0.6%減となりました。事前予想（同0.8%減）は上回ったものの、新型コロナウイルス感染拡大によるロックダウン（都市封鎖）等の影響もあり、2020年10-12月期（同0.7%減）に続き、景気後退とされる2期連続のマイナス成長となりました（図表1）。

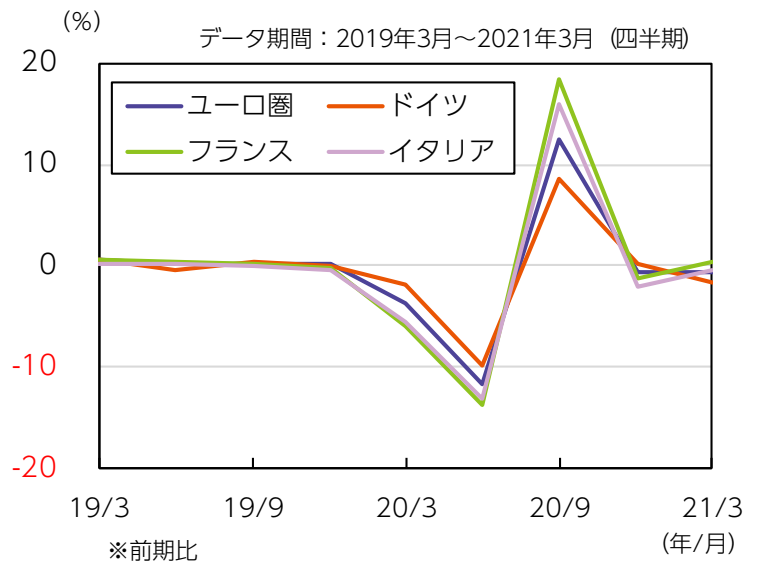
ユーロ圏では感染力の強い変異型ウイルスによる感染が拡大しており、一旦はピークを越えたとみられていたものの、新規感染者数は高水準で推移しています（図表2）。各国がロックダウン等の厳しい措置を継続したことから、経済活動が再び停滞し、実質GDP成長率もマイナスとなったものと思われます。

景気回復には時間を要する可能性が高い

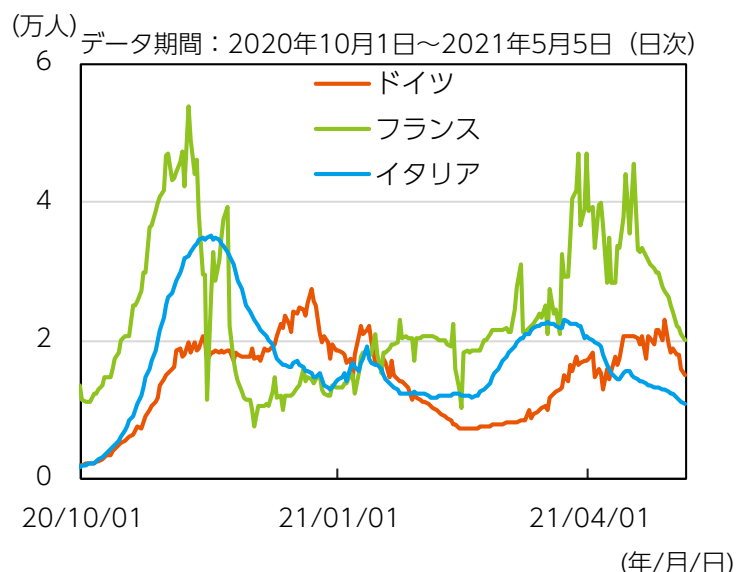
足元では、新規感染者数は高止まりしており、ロックダウン等の厳しい措置が延長される可能性もあるとみられます。一方で、ワクチン接種進展に伴い行動制限の解除による経済活動の正常化が期待されることや夏ごろには景気対策として7,500億ユーロ（約100兆円）規模の欧州復興基金から各国に資金が分配される見込みであることから、徐々に景気は回復するとの見方も強まりつつあります。

5月3日にフランスが外出制限等の措置を段階的に解除するなど、徐々に制限を緩和する動きも見られます。ワクチン接種の進展状況から新規感染者数は徐々に減少すると考えられますが、米国・英国と比較するとワクチン接種は進んでいないこともあり、ユーロ圏の景気回復には時間を要するものと思われます。

図表1：ユーロ圏各国の実質GDP成長率の推移



図表2：ユーロ圏各国の新規感染者数の推移



※ 欧州主要国の新型コロナウイルス新規感染者数（7日移動平均）の推移

出所）図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>